



ー建築はともだち～アーキテクト・ガーデンテーマよりー

**第一部：消費者が抱える建築紛争と紛争解決の支援制度**

**第二部：最後の同潤会・上野下アパートメントの建替を語る**

**40年に亘る建替えの奮闘における住民相互の合意形成と建築家が果たした役割**

■日時：2016年6月18日(土)

午後1時30分～4時00分(開場 午後1時15分)

■場所：AGC studio(旭硝子ショールーム2階)

〒104-0031 東京都中央区京橋2-5-1 8京橋創生館 電話 03(5524)5511

■資料代：1000円 ■募集人数：50人(先着順)

■プログラム

開会(午後1時30分) 講師 敬称略

第一部 消費者が抱える建築紛争と紛争解決の支援制度 (午後1時35分～2時35分)

講師：池田武見 (東京都消費生活総合センター)

講師：青木 稔 (公益財団法人 住宅リフォーム・紛争処理支援センター)

第二部 最後の同潤会・上野下アパートメントの建替を語る (午後2時40分～4時00分)

講師：森瀬光毅 (元同潤会上野下アパートメント 建替組合理事長)

講師：金子光良 (建替コンサルタント・株式会社UG都市建築 常務取締役)

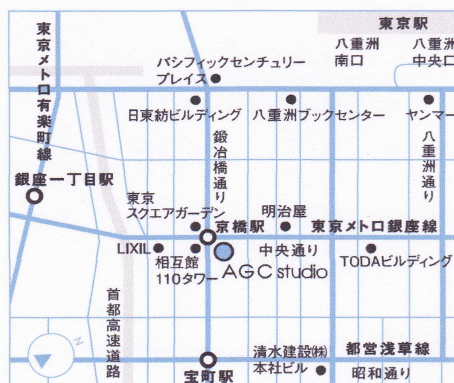
全体司会：小島孝豊(日本建築家協会関東甲信越支部建築相談委員会セミナーWG)

※NPO 建築家教育推進機構によるユーストリーム放映予定

■趣旨

第一部では、建築知識に詳しくない消費者が抱える建築紛争の特性と、それを解決するための支援制度の相談体制について講演を行います。第二部では、最近のマンション関係において杭偽装データの問題が話題となりましたが、経年劣化に伴う維持管理、耐震不足や老朽化を視野に入れた建替えなどは、消費者自らの責任で決断していかなければなりません。最後の同潤会・上野下アパートメントを例に、建替えまでの困難な合意形成を住民がどのように取り組み乗り越えていったか、また建築家はどのように支えたかを、担当したコンサルタントと多様な住民の意見を取りまとめた理事長より貴重な体験談をお聞かせします。

■案内図



■後援：東京都消費生活総合センター

■申込・問合せ先：日本建築家協会関東甲信越支部事務局

大西宛 TEL03-3408-8291

FAX03-3408-8294 又は E-mail (mohnishi@jia.or.jp) まで。

■セミナー終了後、隣接会場で相談会を実施します。(午後4時00分～5時00分)

事前に事務局までお申し込みください。 ■CPD：3単位(取得予定)

セミナー申込み書	FAX(03-3408-8294)		
氏名	連絡先(TEL、FAX、E-mail等)	セミナー	懇親会
		出席・欠席	出席・欠席
		出席・欠席	出席・欠席

※懇親会は5時頃から近隣で予定しています。会場は当日お知らせいたします。